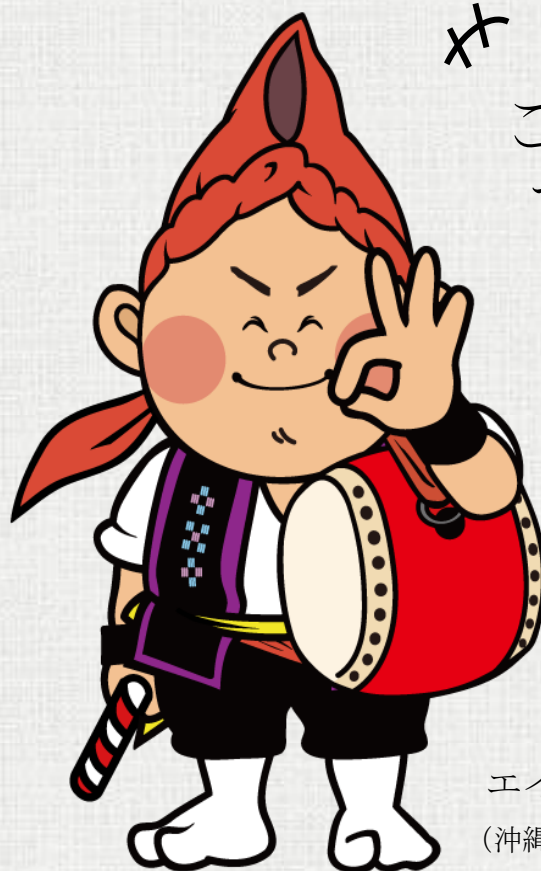


平成28年度

でーじわかりやすい！
よさんのはなし



これ！
でえーじ
わかり
やすいぜ！

エイ坊
(沖縄市エイサーキャラクター)

平成28年6月

沖縄市

でーじわかりやすい！ よさんのはなし

も く じ

- | | |
|----------------------------|----|
| 1. よさんって何？・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| 2. 一般会計のはなし【収入編】・・・・・・・・ | 3 |
| 3. 一般会計のはなし【支出編】・・・・・・・・ | 5 |
| 4. 特別会計のはなし・・・・・・・・・・・・・・ | 7 |
| 5. 今年のまちづくり・・・・・・・・・・・・・・ | 8 |
| 6. よさんが分かった♪・・・・・・・・・・・・・・ | 27 |

1. 「よさん」って何??

日直

さちちゃん

5月8日(月)



「よさん」って何のことかわかるかのお？
漢字で書くと「予算」。少し難しいイメージもあるし、
自分には関係ないと思うだろう？
しかしこの「予算」というものは、わしらが生活して
いくうえでは、とても大事なもののじゃ。
だから、少し「予算」について勉強をしてみよう。



さなじい

Question!!



で、「予算」って何なの？



「予算」とは、1年間の「収入」（入ってくるお金のこと）と
「支出」（使うお金のこと）を計画してまとめたものじゃ。

みんなの生活を豊かにするために、市役所が色々な仕事を行う為
には、1年間でどれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金が使
えるかを、しっかりと計画しないとイケないのじゃ。



「予算」はどうやって決めるの？



市役所の担当者が、市民みんなの意見や提案などを聴いた上で、
市長と一緒に話し合いながら、1年間に行う市民への行政サービス
をしっかりと考えて、そのサービスに必要な予算の案を作るのじゃ。

そうして出来上がった予算案を、市長が「沖縄市議会」に提案
し、市議会議員のみなさんしっかりと話し合いを行って、そこで
認められれば正式な予算として決まるのじゃ。

市長も市議会議員も、選挙によって選ばれた人達なので、市民の
代表者が、沖縄市の「予算」を決めているという事じゃな。

Question!!



沖縄市の「予算」はいくらなの？



今年の（平成28年度）沖縄市の予算額は次のとおりじゃ。

① 一般会計予算	651億8600万円
② 特別会計予算	430億7704万円
合 計 額	1082億6304万円



「一般会計」と「特別会計」って？



沖縄市の「予算」には、「一般会計」と「特別会計」の2種類の予算があるのじゃな。

少し難しくなるが、それぞれの説明は次のとおりじゃ。

- ◎一般会計 → 福祉や教育、道路の整備など、市役所の基本的なサービスを行うための予算
- ◎特別会計 → 特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算（詳しくは7ページ）



ここまで「予算」について、いろいろ勉強してきたが、まだまだ分からない事がたくさんあるじゃろう。

次のページからは、「一般会計」の予算の中身について、もう少し詳しく勉強してみよう！！

少しづつ
わかってきたやっさ～



2. 一般会計のはなし 【収入編】

市の収入について



まずはじめに、沖縄市の収入について勉強してみよう。



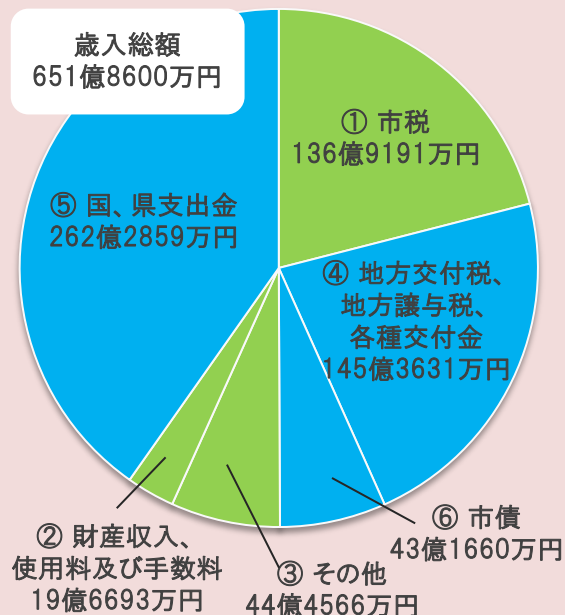
収入ってなんだったっけ？



収入とは、入ってくるお金のことじゃ。そして、1年間に入ってくるお金をまとめたものを「歳入予算」というのじゃ。

それでは、今年の一般会計の歳入予算をみてみよう。

平成28年度 一般会計歳入予算



歳入の各項目の説明

自主財源	①市税	市民が沖縄市に収める税金です。
	②財産収入、使用料及び手数料	市の土地等を貸した際の賃料や、市の施設の利用料、証明書を発行する際にいただいたお金などです。
	③その他	市の貯金（基金）からの取り崩しや、寄付金などです。
依存財源	④地方交付税、地方譲与税、各種交付金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。市での使い道は自由になっています。
	⑤国、県支出金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。市での使い道が決まっています。
	⑥市債	市が国や民間の銀行などから借り入れるお金です。

これが、沖縄市の1年間の歳入じゃ。1年間で651億円余りのお金が入ってきているのじゃな。ちなみに、自主財源とは、沖縄市が自力で調達できるお金で、依存財源は沖縄市以外の組織に頼っているお金じゃな。



沖縄市にはたくさんの収入があって、僕らの税金や、僕らが沖縄市の施設を使った時の利用料金以外にも、国や県からもらえるお金や、国や銀行からの借金などがあるんだね！少し難しかったけど、よ～く分かったよ♪

借金（市債）について



ところでさあ、さっきの歳入予算の中で、国や銀行などからお金を借りている「市債」ってあったけど、これって「借金」のことかなあ？



まあ、簡単にいうと、そのようなものじゃな。



こんなに借金して大丈夫なの！？！？



学校などの大きな建物を作る時には、たくさんのお金が必要になるのじゃ。

建物を作る年に、1年間に入ってくるお金から、市役所の1年間に行う仕事に使うお金を除くと、どうしても足りないことがあるのじゃ。そのような時に、借金をしてお金を準備しているのじゃ。

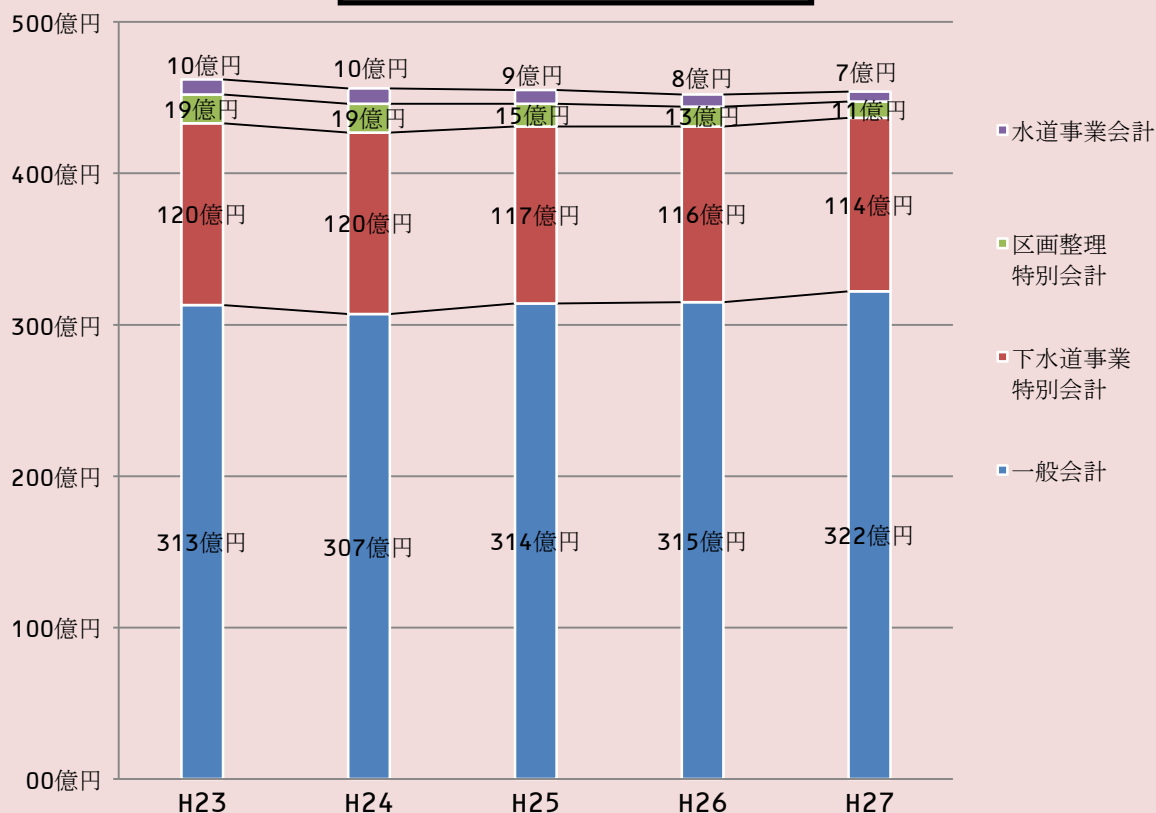
また、その他にも理由があって、学校などの大きな建物は何十年もみんなが使うものだから、今使う人だけじゃなくて、これから使う人も含めて、みんな
で平等にお金を負担してもらうために、借金をしているのじゃ。

だから、借金をするのは、理由があって、悪い事だけではないのじゃな。



なるほど！そういう事だったんだね！納得したよ♪

市債残高の状況



3. 一般会計のはなし 【支出編】

市の支出について（目的別）



収入の次は「支出」の勉強かな？でていくお金だよな？

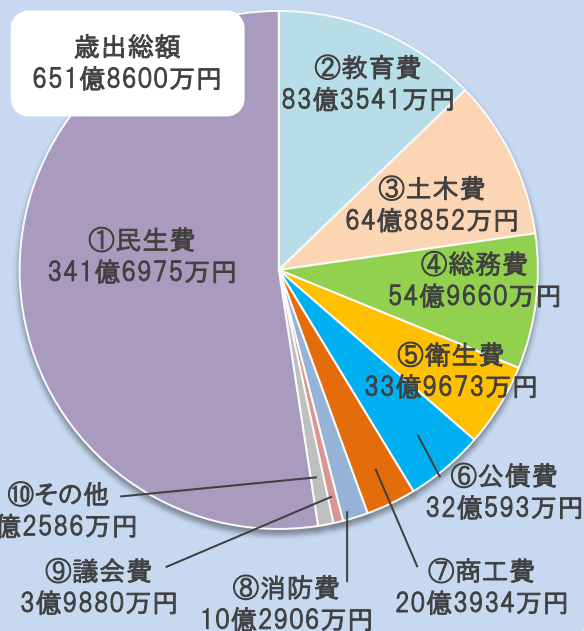


そのとおりじゃよ。そして、1年間に使うお金をまとめたものを「歳出予算」というのじゃ。

また、歳出予算には、「目的別」と「性質別」の見方がある。

まずは、お金を使う目的ごとに分けられている、「目的別」の歳出予算をみてみよう！

平成28年度 一般会計歳出予算（目的別）



歳出（目的別）の各項目の説明

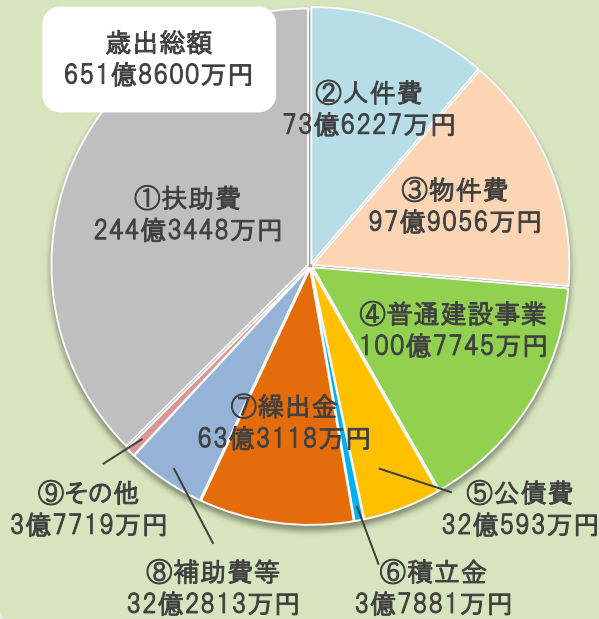
①民生費	こどもや老人、障がい者が安心な生活をおくる為などに必要な福祉に使うお金です。
②教育費	学校の教育や図書館・博物館の運営、スポーツの振興などに使うお金です。
③土木費	沖縄市の道路や公園、公共住宅などを作ったり、修理したりするお金です。
④総務費	税金の徴収や市庁舎の管理、財産の管理など、市役所を運営する為のお金です。
⑤衛生費	ごみの収集や医療・保険など、市民の生活や健康を守るためのお金です。
⑥公債費	国や銀行などから借りている沖縄市の借金を返す為のお金です。
⑦商工費	商店街や企業の支援や観光の振興、まつりの開催などに使うお金です。
⑧消防費	火事・台風や、怪我・事故などから、市民の命や財産を守る為に使うお金です。
⑨議会費	沖縄市の議会を開催したり、議員のみなさんの給料を払ったりするお金です。
⑩その他	他にも「農林水産費（農業や漁業などの支援）」「労働費（働く人の支援）」「災害復旧費（災害の被害から復旧する為の費用）」などがあります。



市役所の仕事を目的別に大きく分けるとこのようになるのじゃ。その中でも、こどもやお年寄り、障がい者のために行う仕事に約半分のお金が使われていて、教育や道路・公園などに使うお金も結構大きいのじゃな。

市の支出について（性質別）

平成28年度 一般会計歳出予算（性質別）



次は「性質別」の歳出予算だね！でも、性質別って？

なんだか分かりにくくなぁ…？



教育に使う予算や消防に使う予算など、目的が違う予算の中でも、職員の給料や事務用品の購入代金など、お金の使い道が同じ性質のものがある。そのような見方でお金を分けたものが「性質別」じゃ。では、「性質別」の歳出予算をみてみよう。

歳出（性質別）の各項目の説明

①扶助費	医療や福祉など、生活を助けるために必要な支援にかかるお金です。
②人件費	市の職員や議員、各種委員に払う給料や報酬などにかかるお金です。
③物件費	光熱水費（電気・水道等）や消耗品費（事務用品等）などにかかるお金です。
④普通建設事業	市の建物や道路、公園などの建設にかかるお金です。
⑤公債費	国や銀行などから借りている沖縄市の借金を返す為のお金です。
⑥積立金	特定の目的に設けている市の貯金（基金）への積み立てにかかるお金です。
⑦繰出金	一般会計から特別会計等への支出にかかるお金です。
⑧補助費等	他の組織への補助金や負担金などにかかるお金です。
⑨その他	他にも「維持補修費（公共施設の維持や修理にかかるお金）」「予備費（緊急に必要となった事にかかるお金）」があります。

沖縄市の一年間の支出をまとめた歳出予算には、目的別と性質別があって、それぞれ違う角度からみることで、市がどのようなことにお金を使っているか、どのようなことに力を注いでいるかが分かるのじゃな。



沖縄市が市民の為に行う仕事には、これだけ多くの予算が使われているんだね。歳出予算のそれぞれの項目は少し難しいけど、僕たちの暮らしに関わっているお金だから、これからも興味をもって勉強してみるよ♪

4. 特別会計のはなし

特別会計の種類と今年の予算額について



さて、次は「特別会計」のはなしじゃ。



特別会計ってのは確か...「特定の事業を行う為に、一般会計とは区別して管理している予算」だったよね。何で分けて管理するの？



分けて管理する理由を簡単に言うと、その特定の仕事をする時に、他の仕事に使うお金とは分けて管理した方がわかりやすかったり、仕事の責任が明確になるからじゃ。

沖縄市が現在、特別会計として管理している予算は次のとおりじゃ。

土地区画整理事業特別会計

予算額：5億1595万円

美里地区と美里第二地区の土地区画整理事業（道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業）を行う為の会計

国民健康保険事業特別会計

予算額：218億683万円

国民健康保険制度（国民を対象として、病気やケガ、出産、死亡に関して、必要な保険料が給付される制度）を運営する為の会計

介護保険事業特別会計

予算額：89億791万円

介護保険制度（寝たきりなどで介護が必要な高齢者などの治療や、介護にかかる費用を社会全体で支える制度）を運営する為の会計

後期高齢者医療事業特別会計

予算額：11億7701万円

後期高齢者医療制度（75歳以上の高齢者などの医療費を社会全体で支える制度）を運営する為の会計

下水道事業特別会計

予算額：27億8181万円

公共下水道の整備や管理など、下水道に関する仕事を行う為の会計

水道事業会計

予算額：78億8753万円

沖縄市水道局が行う水道に関する仕事を行う為の会計

特別会計も
わかった！



5. 今年のまちづくり

沖縄市の今年のまちづくりについて

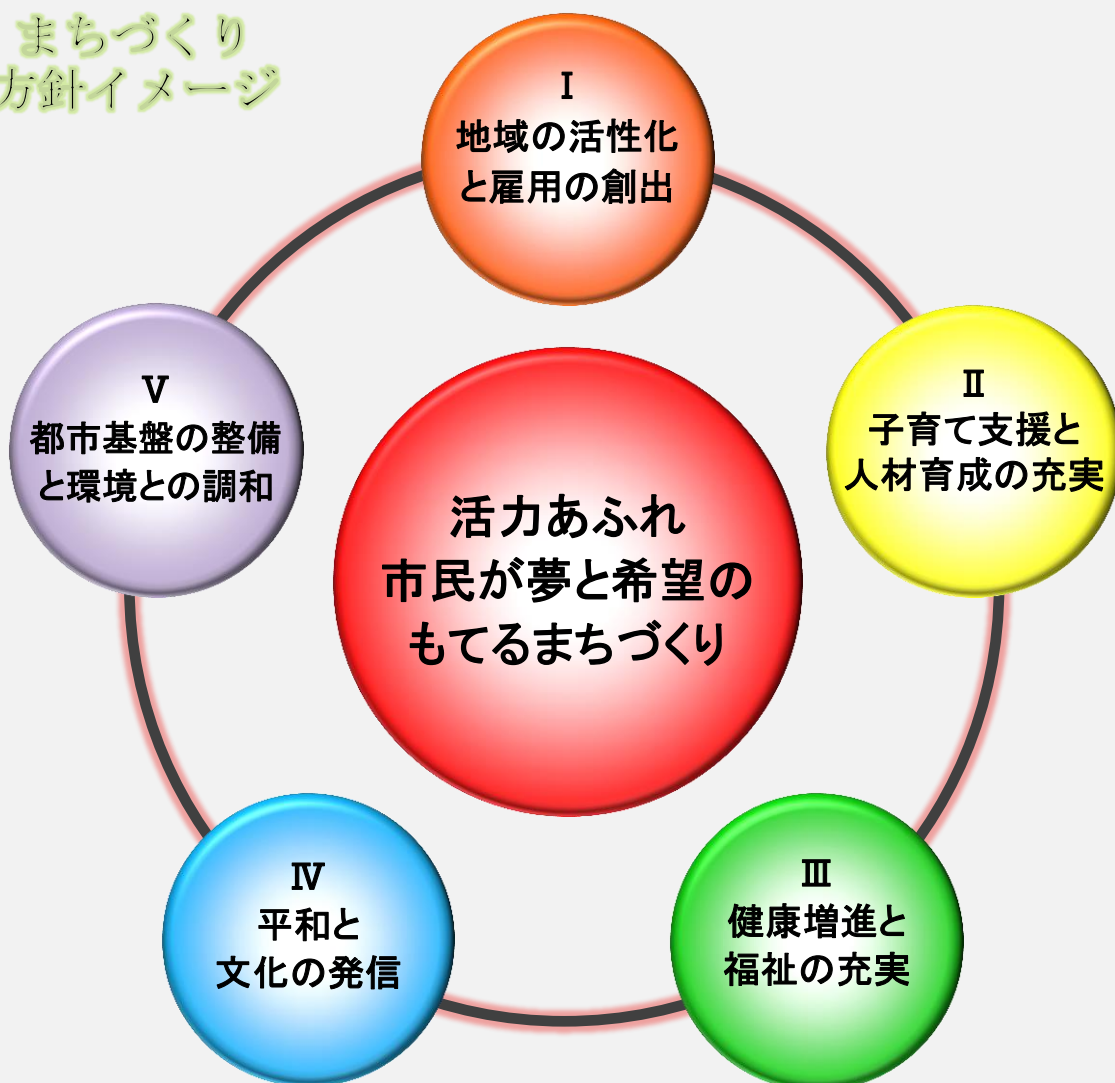


最後にまとめとして、これまで勉強した沖縄市の予算が、どんな事に使われるのかを勉強してみよう。沖縄市では「活力あふれ・市民が夢と希望のもてるまちづくり」をめざして、5つの重点的な方針に沿ってまちづくりを進めているのじゃ。次のページから具体的な例をみていくぞ。



5つの重点的な方針?! 少し難しそうだけど、予算についていっぱい勉強もしたし、少しはわかるかも。最後まで頑張ってみよう♪

まちづくり 方針イメージ



I 地域の活性化と雇用の創出

多目的アリーナ整備事業（予算額：約2億5,175万円）

琉球ゴールデンキングスをはじめとするスポーツ興行、コンサート等が開催出来る一万人規模の多目的アリーナ建設を進めています。

県外から観光客を誘客し、活力溢れる沖縄市のランドマークとなるよう整備していきます。



（仮称）沖縄サーキット整備事業

（予算額：約3,346万円）

モータースポーツを沖縄市の新たな観光資源とするため、サーキット整備に向けた取り組みを行っています。

将来的なサーキットの方向性を定めるための計画を作るとともに、モータースポーツの楽しさを多くの人に知ってもらうためのイベント「コザモータースポーツフェスティバル」を開催します。



I 地域の活性化と雇用の創出

エイサーのまち推進事業（予算額：約1億288万円）

沖縄市の伝統芸能である「エイサー」を観光資源として積極的に活用することで、観光振興による地域活性化を図るとともに、エイサー文化の継承発展ならびに青少年の健全育成に努めます。

また、「エイサーのまち沖縄市」のイメージ定着の取り組みも行い、今年度は（仮称）青年エイサー会館の開設へ向けた取り組みを行います。

沖縄市エイサーキャラクター



エイ坊



サーちゃん



たーくん



さなじい

（仮称）雇用促進施設等整備事業

（予算額：約5億7,572万円）

商業施設であったコリンザを、市民小劇場を活用した文化や芸能を楽しめる交流の場や、子供から大人まで、誰もが学習する機会を提供する図書館、雇用機会の拡大を図るための企業入居スペースなど、多様なニーズに対応する施設として再整備を行います。



I 地域の活性化と雇用の創出

商店街再生チャレンジショップ事業

(予算額：約3,000万円)

商店街再生チャレンジショップ事業は、商店街の活性化を図ることを目的に、店舗の内外装工事や給排水整備、空調設備及び看板工事等にかかる費用の2分の1（上限100万円）を補助しています。

対象は、「商店街で新たにお店を開きたい方」「商店街で商売をしている方」となっています。



東部海浜地区開発事業 (予算額：約2,681万円)

スポーツコンベンション拠点の形成を目指す土地利用計画の早期実現にむけて、平成28年度は人工島の魅力向上に向けて、人工島の景観に関する基本方針の検討を行うとともに事業のPRに取り組みます。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

こども医療費助成事業（予算額：約3億6,264万円）

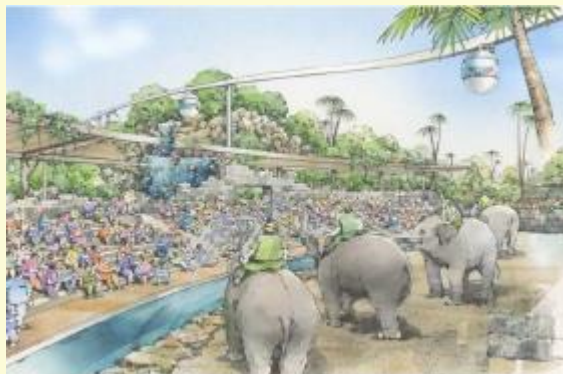
こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。

入院助成の対象は中学校卒業までとなっております。通院については、平成28年度中に現行の就学前から小学校3年生までに拡充します。



沖縄こどもの国整備事業（予算額：約5億1,899万円）

沖縄県内でただ一つの本格的な動物園である「沖縄こどもの国」の区域を広げ、動物に関することや自然科学など、色々なことを楽しみながら学ぶことができるよう整備することで、県外や国外からも多くの観光客を誘客できるような、日本一ユニークな施設にしていきます。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

認可外保育施設認可化移行支援事業

(予算額：約3億1,580万円)

認可保育所への移行を目指す認可外保育施設に対し、運営費の支援や施設整備の補助を行い、認可化することで待機児童（認可保育所に入所できないこどもたち）の解消に向けての取り組みを行っています。



私立保育所施設整備事業 (予算額：約7億9,100万円)

待機児童（認可保育所に入所できないこどもたち）の解消に向けて、私立保育所（認可保育所）の定員増を伴う建替えや、分園設置のための施設整備等について、その費用の一部を補助することにより、私立保育所の整備・促進を図っています。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

児童館等整備事業（予算額：約3,503万円）

児童館は、児童福祉法に基づく児童厚生施設で、児童の遊びおよび生活の援助と地域における子育て支援を行い、こどもを心身ともに健やかに育成することを目的とした施設です。

今後、1中学校区ごとに児童館機能を備えた施設の設置をめざします。



放課後児童クラブ整備事業（予算額：約8,471万円）

放課後児童クラブは、昼間保護者が家庭にいない児童を適正に保護するとともに、児童に健全な遊びと正しい生活習慣を身に付けることを目的としたものです。

今後、1小学校区ごとに公設放課後児童クラブの整備をめざします。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

島袋小学校校舎改築事業（予算額：約9億8,230万円）

島袋小学校の校舎は昭和43年から昭和58年に建設され、とても古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えられることになりました。

平成28年度内で新しい学校でのスタートを予定しています。



高原小学校校舎新增改築事業

（予算額：約12億9,383万円）

高原小学校の校舎は昭和45年から昭和61年にかけて建てられましたが、校舎が狭く、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えられることになりました。

平成30年4月から新しい学校でのスタートを予定しています。



Ⅲ 健康増進と福祉の充実

健康づくり推進事業（予算額：約722万円）

「みんなで生き生きと健やかに暮らす」ことをめざして「健康寿命の延伸」を目標にした健康づくり計画～ヘルシーおきなわシティ21～をもとに、生活習慣病を予防するための健康づくりを支援しています。

多くの市民へ健康づくりの大切さを伝える講演会、自治会を拠点とした健康講話やヘルシーメニューの実習、運動や調理実習等の実践活動を行う各種教室などを行っています。

健康づくりキャラクター「おきはくん」もそのお手伝いをしています。



健康づくりキャラクター
おきはくん

予防接種事業（予算額：約5億970万円）

予防接種法に基づく予防接種及び沖縄市が独自に行う行政措置予防接種を実施します。

予防接種は、感染症の原因となるウイルスや細菌等の力を弱めてつくったワクチンを体に接種して、病気に対する抵抗力（免疫）をつくります。その予防接種の意義や必要性について周知を図ることで、高い接種率を維持し、感染症の発生及びまん延の予防、病気による重症患者や死亡者の減少を目的としています。



Ⅲ 健康増進と福祉の充実

特定健康診査・特定保健指導事業

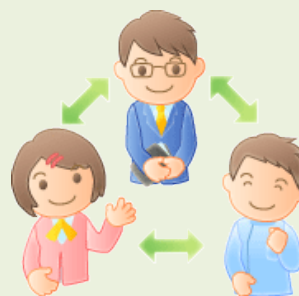
(予算額：約9,882万円)

「カロリーの高い食べ物を食べる、タバコを吸う、お酒を飲みすぎる...などの身体に悪い影響を与える生活を続けていると、将来『生活習慣病』という病気になります。『生活習慣病』には肥満や高血圧、糖尿病などがあり、悪化すると心筋梗塞や脳卒中などで死に至ることもあります。その『生活習慣病』を予防するためには普段の生活習慣を見直すことが1番の方法です。沖縄市では体重測定や血液検査、保健指導が無料で受けられる特定健康診査や特定保健指導を行っており、市民一人一人が生活習慣病を見直し、健康に過ごせるようサポートしています。



地域包括支援センター事業 (予算額：約6,533万円)

高齢者の皆さんが住み慣れた沖縄市で暮らし続けるために、地域包括支援センターでは、65歳以上の高齢者の皆さんとご家族の介護や健康、生活など様々な困っていること、悩んでいることに対し、保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員の専門職種が相談や必要な支援を行っています。



Ⅲ 健康増進と福祉の充実

障がい者基幹相談支援センター運営事業

(予算額：約2,100万円)

障がいのある方やご家族がスムーズに相談できる体制作りと、支援のネットワーク構築を通して、誰もが住みやすい地域づくりの発信地を目指して取り組んでいます。

たとえば...

- 相談にはつながっているが、なかなか解決できない事例への対応
- 相談支援事業所への専門的指導・助言
- 相談専門員の人材育成支援
- 地域生活を支えるための地域のネットワーク作り・コーディネート
- 関係機関（学校・福祉サービス事業所等）からの相談対応
- 沖縄市自立支援協議会の運営

※自立支援協議会とは、障がい者等が地域で安心して生活できる支援体制を構築するため設置されている会です。



Ⅲ 健康増進と福祉の充実

生活困窮者自立支援事業（予算額：約7,528万円）

『自立相談支援』：生活保護に至る前の生活困窮者に対して、相談窓口を設置して本人が抱える課題を受け止め、包括的な支援計画を策定することにより、自立までの継続的な支援を行います。

また、複合的な問題を抱える生活困窮者を早期に把握するために関係機関のネットワークづくりを目指します。



『住居確保給付金』：離職により住宅を失った又はそのおそれが高い生活困窮者であって、所得等が一定水準以下の者に対して、有期で住居確保として給付金（家賃）を支給します。

『一時生活支援』：沖縄市を現在地とする住居を持たない生活困窮者を対象に、一時的に安全な居場所を確保し、安定した生活を取り戻すために必要な支援を行います。

『就労準備支援』：沖縄市内の生活困窮者で、すぐに仕事に就けない方に対して就労セミナー等を行い、自立に向けた支援を行います。



IV 平和と文化の発信

戦後文化資料等展示事業（予算額：約2,678万円）

沖縄市は全国的にも極めて個性的な戦後史を歩み、ユニークな文化を育んできました。この戦後史（文化）をまちづくりに活かそうと、沖縄市では商店街（パルミラ通り）にヒストリート・ヒストリートⅡという空き店舗を利用した展示室を設けました。ヒストリートでは常設展と年に数回の企画展を開催するとともに、「KOZA BUNKA BOX」という戦後情報誌を発刊して本市の戦後歴史文化情報を発信しながら、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、観光客等を商店街に誘客し、中心市街地の活性化を図ります。

また平成28年度はヒストリートの拡充を目的に、新たなヒストリートに係る基本計画を策定します。



自治会公民館改修（補修）工事等補助金

（予算額：約3,747万円）

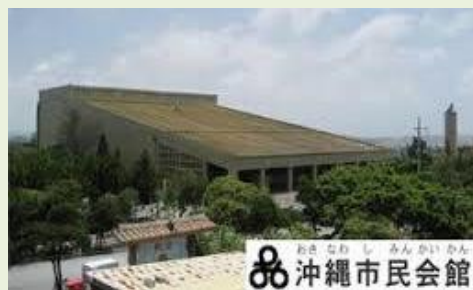
地域コミュニティの活性化に向けて、自治会公民館における地域活動を円滑にするために、施設の改修・補修の支援を行います。



IV 平和と文化の発信

市民会館改修事業（予算額：約8,099万円）

沖縄市民会館は、昭和55年10月の開館から平成28年度で37年目を迎えます。文化施設としての安全面、機能面、快適施設利用サービス向上を目的に、これまでは主に防衛9条交付金や沖縄振興特別交付金等を活用して、音響、照明、空調、舞台等各設備において耐用年数を超える部分の改修工事を行っております。今年度については、耐震診断調査の結果を踏まえ、沖縄市民会館の基本計画を策定します。今後は、その基本計画に基づき、市民会館の工事を行う予定です。



文化芸能推進事業（予算額：約4,414万円）

優れた文化芸術作品を鑑賞する機会を提供し、地域に根ざした個性豊かな市民文化の創造に努めます。また、文化芸能に親しみやすい市民参加型事業を実施し、文化芸能に対する関心・理解を深めるとともに、市民による文化活動を積極的に支援し、文化資源を活用した賑わいのあるまちづくりに取り組みます。



IV 平和と文化の発信

(仮称) 多目的広場整備事業

(予算額：約4億7,438万円)

現在、コザ運動公園にある屋内練習場は、手狭なうえに老朽化が著しいため、利用者から改善を求める声が出ており、炎天下や雨天時に、屋外スポーツが十分に行える代替施設の整備が望まれています。屋根付きの運動広場が整備されることで、天候に影響されずに屋外スポーツが行えるため、市民の健康増進や競技力の向上が図られるほか、災害時には救援物資庫としての役割も果たします。



図書館建設推進事業 (予算額：約3億9,156万円)

今の沖縄市立図書館は、建てられてから31年がたち、図書館がせまいことと駐車場が少ないことが問題となっています。そのため沖縄市は、平成23年から平成27年までの沖縄市の計画のなかに「新しい図書館づくり」ということを入れて、沖縄市中央にある商業施設であったコリンザ1階に図書館の整備を進めています。今年度は、平成27年3月に定めた「沖縄市立図書館整備基本計画」をもとに、新図書館のオープンに向けて、本や備品、システムの整備を行います。



V 都市基盤の整備と環境との調和

地域防災対策事業（予算額：約3億7,328万円）

各種災害から市民の生命財産を守るため、災害に強いまちづくりを推進します。

地震や津波、各種災害、防災等に関する情報を市民に迅速・的確に伝える手段の一つとして、防災行政無線のデジタル化に取り組んでいます。

また、地震・津波災害に備え、災害用備蓄品（食糧、飲料水等）の整備、土砂災害ハザードマップの作成、老朽化した災害時避難場所の標識を更新致します。

地域防災力強化と防災意識の高揚を図るため、自主防災組織の結成及び育成を推進し、防災資機材の整備を行います。



保存用
平成27年5月

品
沖縄市防災マップ
もしもの時の備えに！ Hazardmap

津波ハザードマップ
(浸水想定・標高)

わが家・わが街を守ろう！
私たちの街にも自主防災組織を！

出火防止・初期消火、被災者の救出・救護・避難などの防災活動を、地域住民が協力で行うのが防災活動です。
そこで、地域住民が団結し、組織的に行動することが必要になってきます。
そのための自主的な組織こそ「自主防災組織」です。

普段からの備え

- 防災について理解や協力を得る
- 地区内の危険な場所の確認
- 防災訓練の実施
- 防災地図の発行

沖縄市防災行政無線放送が
電話で確認できます(無料) ☎ 0120-0978-99

災害時及び非常時のお知らせ等の情報を発信していますが、
災害時で通話できない場合や通話したい場合に、無料で防災行政無線放送ができます。

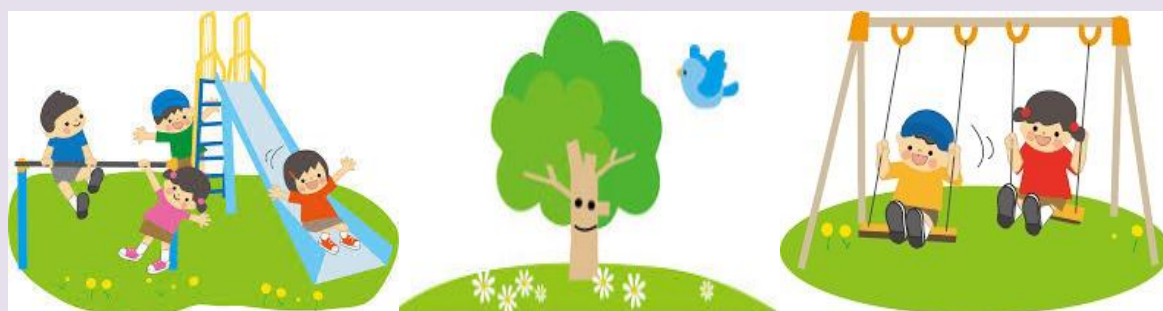
V 都市基盤の整備と環境との調和

公園整備事業（予算額：約9億3,943万円）

人口が集中した街の中に造る公園を都市公園といい、その公園を整備する事業がこの事業です。

公園整備は、自然を保護することで動植物を保全することや季節の変化による美しい景観を創りだすこと、地震等の災害時の避難場所を確保すること、都市住民の健康づくりや休養、憩いの場、遊びの場を造ること等を目的としておこなっています。

平成28年度は、
（仮称）美東公園、
若夏公園
などの整備を行います。



V 都市基盤の整備と環境との調和

中の町地区土地区画整理事業（予算額：約6,821万円）

中の町地区土地区画整理事業は、幅がせまく行止りとなる道路が多いため、生活面で不便となっている住宅街の改善を目指して、地区内の道路整備、建物を建てる土地（宅地）の整理をしていく事業です。ミュージックタウンに隣接してゲート通り沿いに位置する住宅と店舗が混在した地区であるため、中心市街地の商業活性化につながるよう取り組みます。



安慶田地区土地区画整理事業

（予算額：約1億9,047万円）

安慶田地区土地区画整理事業は、幅がせまく行止りとなる道路が多いため、生活面で不便となっている住宅街の改善を目指して、地区内の道路整備、公園の配置、建物を建てる土地（宅地）の整理をしていく事業です。



V 都市基盤の整備と環境との調和

山里第一地区市街地再開発促進事業

(予算額：約11億8,801万円)

山里第一地区は、国道330号と県道24号線が交差する山里三叉路の一角に位置しています。地区内は老朽化した住宅が密集し、道路も狭く、生活環境および火災等の防災面にも課題があります。このため、高層建築物に建て替えを行い、住宅や商業施設、広場等を整備し安全で快適なまちに寄与する事業です。



安慶田市営住宅建替事業 (予算額：約6億9,118万円)

安慶田市営住宅は、約40年前に建てられましたので、建物が古くなってきました。そのため、現在の安慶田市営住宅から新しい安慶田市営住宅へ建て替えを行っています。

<事業概要>

- (1) 住宅建設：約198戸
- (2) 事業期間：平成23年度～
平成30年度

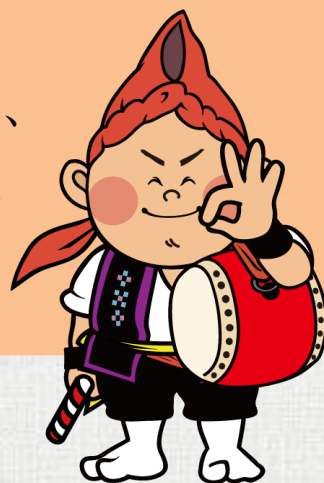


6. よさんが分かった♪

ここまで来れば君も予算が分かった！よね？
難しくて、ややこしそうな「予算」だけど、
中身をのぞいてみると、とっても大事なものの
なんだってことが分かったはず。

市民のみんなから預かったお金が「予算」に
なって、学校や道路、公園を作ったり、家から
毎日出るごみを集めたり、災害や火災から守っ
ているんだ。

だから、これからも自分たちが負担したお金
が、何に使われているのかをちゃんと知って、
これから自分たちが何に使いたいの
かをみんなで決めていこう！そして、
自分たちの住むまちを、もっと安全
で住みやすいまちにしていこう♪



でーじわかりやすい！ よさんのはなし

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098-939-1212

FAX：098-934-3830

URL：<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>